

地域包括ケア論

ナンバリング:N4-S2-J15

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

対象者・家族が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるための、地域包括ケアとしての多職種連携や地域の人々との協働によるまちづくりについて学修する。これまでの実習等で経験した事例について、関係する法律や制度とケア体制の課題を整理し、その課題を解決するための新たな社会資源の活用等の提言をまとめることにより、新たなケアを創造するための基本的な考え方を学修する。

・教育成果(アウトカム)

これまでの実習体験をもとに、在宅ケアに関する制度、病院における退院支援、保健・医療・福祉・教育機関等の連携の実際を振り返ることで、地域におけるケアの現状と課題を整理し、必要な社会資源の検討から地域包括ケアの今後のあり方を考えることができる。また、地域包括ケアシステムにおける多様な専門職と地域の人々との連携・協働を学ぶことにより、地域の健康生活を支えるために必要な看護の役割を考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. これまでの実習体験をもとに、在宅ケアを支える制度と社会資源を説明できる。
2. 保健医療福祉における看護サービスを提供できるしきみを説明できる。
3. 療養場所を移行するために必要な援助を説明できる。
4. 保健医療福祉サービスの継続性を保障するためにチーム間の連携について説明できる。
5. 地域で安心して暮らすための地域の課題を列挙できる。
6. 地域の健康課題解決に向けて、多職種連携と住民との協働を通して、地域ケア体制を構築する意義と方法について理解できる。
7. 住民と多職種による健康なまちづくりについて考察することができる。
8. 地域包括ケアのための看護職の役割を列挙できる。

・授業日程

【講義】

会場： マルチ4-A講義室、トクタヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/23 木 1限	【授業内容】 地域包括ケアにおける支援体制 ・地域ネットワークづくりのための関係機関、関係者を説明できる ・地域で暮らす支援ニーズが高い対象者を支援するための多職種連携・協働・調整の方法を説明できる 【関連するSBO】 4、6 【事後学修：210分】 地域包括ケアシステムの中で連携・協働している行政・住民・民間(企業)の役割と機能の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
4/24 金 1限	【授業内容】 地域まるごと健康づくり(ゲストスピーカー) ・地域まるごと健康づくりを目指すヘルスサービス機関の先駆的取り組みから、多職種の役割を理解し、連携・協働のあり方を説明できる ・地域における人々との連携・協働の方法を理解し、看護の役割と機能を説明できる 【関連するSBO】 3、4、8 【事前学修：90分】 日本HPHネットワークのホームページを閲覧し、概要を把握する 【事後学修：120分】 地域の健康水準の向上を目指す看護職の役割をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授

5/7 木 4限	<p>【授業内容】地域における看護の実際(ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の場での看護の地域看護の視点と展開方法を説明できる 地域の課題解決のための、住民・関係者等のネットワークの意義について説明できる 地域・在宅看護の先駆的取り組みから、地域に広がる看護の役割を説明できる <p>【関連するSBO】5、6、8 【事前学修:90分】今までに出会った病院以外の看護職の活動の場と役割をまとめる 【事後学修:120分】地域看護の発展に向けて、看護の役割を考える</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/16 火 4限	<p>【授業内容】地域包括ケアの課題 グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生が設定するテーマについて、保健・医療・福祉・教育機関等の役割と連携を整理できる 生活や健康に困難を抱えている対象者の課題や地域背景をアセスメントできる 地域の生活・健康課題をあげることができる <p>【関連するSBO】1、2、3 【事前学修:210分】実習体験を振り返り、退院支援または地域包括ケアに関連して、印象に残った事例の概要をまとめてくる</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/22 月 1限	<p>【授業内容】住民と多職種による健康なまちづくり(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人・家族・集団・地域の健康課題解決に向けて、住民や関係機関との協働関係の構築の点から検討できる 保健医療福祉機関等の専門職、住民組織・地域組織・学校・産業等の役割を理解し、課題解決のために関係機関に求められていること、また、住民と共に取り組んでいく内容、方法を考えることができる <p>【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:210分】これまでの実習等で経験した事例について、関係する法律や制度とケア体制の課題を整理する</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/22 月 2限	<p>【授業内容】住民と多職種による健康なまちづくり(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域アセスメントを行い、地域課題を明確にし、自助・互助・共助・互助を考慮した対応策を考えることができる 人に伝わる発表資料を作成できる <p>【関連するSBO】2、4、5 【事後学修:210分】発表資料を作成し提出する</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/29 月 3限	<p>【授業内容】住民と多職種による健康なまちづくり(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝わるプレゼンテーションを心がけることができる 地域包括ケアやしきみを考えることができる <p>【関連するSBO】6、7 【事前学修:210分】発表の準備をする</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/29 月 4限	<p>【授業内容】地域共生社会のこれから</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で起こっている課題に対して、自分事として共有し解決する必要性を説明できる 地域で暮らす全世代の人々が安心して暮らすことができる社会の実現に向けた看護職の役割を考えることができる <p>【関連するSBO】5、7、8 【事後学修:270分】すべての人がつながりあう社会をつくるための住民、多職種・多機関との協働・連携における看護職の役割を考える</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第8版	臺有佳 他 編	メディカ出版	2025
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(2) 在宅療養を支える技術 第3版	臺有佳 他 編	メディカ出版	2025
参	国民衛生の動向2025/2026(『厚生指標』臨時増刊第72巻第9号)	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2025
参	つながる・ささえる・つくりだす 在宅現場の地域包括ケア	秋山正子	医学書院	2016
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤 第7版	河原佳代子 他	医学書院	2026
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践 第6版	河原佳代子 他	医学書院	2022
参	看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護	岸恵美子 他 編	中央法規出版	2022
参	健康格差社会:何が心と健康を蝕むのか第2版	近藤克則	医学書院	2022
参	健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点	近藤尚己	医学書院	2016
参	格差時代の医療と社会的処方	武田裕子 編	日本看護協会出版会	2021

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験60%、グループワークの取り組み状況10%、指定した提出課題30%により評価する。グループワークの取り組み状況は、主体性、積極的態度、グループメンバーとの意見交換の状況を含む。課題には事前準備として課した内容の遂行状況を含む。
 【形成的評価】事前課題の提出を求め課題の取り組み状況を確認する。各回の講義において、振り返りシートの提出を求め、学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
4.7.8	1～4		60					60
4.7.8	1～8			30				30
4.7.8	5.7				10			10
合計		0	60	30	10	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
- ・課題は期日までにWebclassへ提出すること。
- ・レスポンスカード、グループでディスカッションした内容については、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師(別表1): 公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論
 看護師(別表3): 専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

地域における看護職の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義時使用